

平成 20 年度第 1 回長野市立図書館協議会開催概要

- 1 日 時 平成 20 年 7 月 24 日 (木) 午後 2 時から 4 時まで
- 2 場 所 南部図書館 2 階会議室
- 3 出席者 委 員 9 名 嵩哲夫委員、岡澤和好委員、栗原久委員、原田篤穂委員
松本治子委員、丸山清子委員、宮崎玲子委員、森山環委員
若井清一郎委員 委員 10 人中 9 人出席
協議会成立

事務局 10 名 篠原邦彦教育次長、西沢昭子生涯学習課長、田中健一生涯学習課主事
長野図書館 松木仁館長、常田忠則館長補佐、柄澤士郎主査
南部図書館 小林久美子館長、赤松菊江館長補佐、稲葉聡子係長
森山正美係長

4 議 事

- (1) 平成 19 年度事業報告について
- (2) 平成 20 年度事業計画について
- (3) インターネット予約等について
- (4) その他

5 議事内容

- (1) 平成 19 年度事業報告について
事務局から、平成 19 年度事業報告について説明
- (2) 平成 20 年度事業計画について
事務局から、平成 20 年度事業計画について説明
- (3) インターネット予約等について
事務局から、インターネット予約等について説明
- (4) その他
委員長から、高校、大学図書館との連携について提案

これに対して以下の意見と提案があった。

(平成 19 年度事業報告について)

(平成 20 年度事業計画について)

委 員：二つの図書館で、書庫が一杯であるとのことだが、現状から考えて計画があるのか。
事務局：例えば、長野図書館で言うと近くの学校の空き教室を改装して使えればと考えているが、
遠くの山の学校ならいくらでもあるが、遠くでは利用できない。現状のままで推移すれば、

一方で今まで購入した図書の中から、除籍・廃棄していかなければならない状況である。現在のところ、除籍したものは汚損・破損したものであり、それ以外はまだ除籍していない。しかし、雑誌については、一部の永年保存の物以外は、3年間の保存期間を経過したものを除籍し、11月に一般の皆さんにお分けしている。基本的に、除籍基準を定めているので、それに従って除籍している。

委員：多くの冊数から除籍するので、調べるだけでも大変と思うが、何とか妙案があれば良いが、例えば国会図書館でもマイクロフィルムの部屋があるが、自分で調べなくてはならないし、自分でコピーしなければならないので大変である。学術雑誌などは今後電子出版に変わるのではないか。DVDなどに収めれば相当コンパクトに収まると思うが、これもまた、利用するときには設備が必要となる。これは、長野市立図書館のみではなく全国共通の課題である。将来に向けて、考えていかななくてはならない問題である。長野図書館は今、満杯になったところのことなので、多少は時間的な余裕があるということであるが、このことにつき、他の図書館の様子は聞いているか。

事務局：特には聞いていないが、東京の多摩地区では、各自治体が協力しあって、残すものは残すようにしているようである。良し悪しはあるが、ベストセラー本は何冊か複本があるので、5年、10年経過するとベストセラーではなくなるので、そういうものから除籍して、少しでも書庫のスペースを確保していくということになろうかと思う。何年か前に、西船橋の図書館で、特定の司書が、特定の著者等の本をまとめて除籍して問題になり、裁判になって市が負けてしまったことがあった。除籍をするにも、きちんと複数の目で見てやっていくことが基本である。

委員：本当は利用者側の意見も聴かなければいけないのであろうが、それは、理想的ではあっても、事務的に困難であろう。何か妙案があれば良いと思うが。

事務局：南部図書館では、昨年、共和児童センターの跡地を借りたいと管財課に申し出たが、地域で利用したいということで借りられなかった。除籍する資料については、有効利用したいということで、市役所の各所属に通知を出し、必要な所属に約1,000冊配布し、役立てていただいた。あとは、図書館まつりの際に、除籍本のリサイクル広場を開催し市民に配布している。

委員：図書館概要は立派な資料であり、ご苦労されたと思う。要望を申し上げたい。予算を多く獲得してほしいということである。行政サイドなのか、議会サイドなのか、最初は市長をトップにした行政サイドからであろうと思うが、予算を獲得の要望をお願いしたい。今も要望はしていると思うが、さらに強くお願いしたい。

また、予算のことで、聞きたいのであるが、(資料3ページの)図書館費の内訳についてであるが、(5)、(6)、(10)など、記入されていないものがあるがその理由は何か。

事務局：上に、教育費 社会教育費 図書館費と記載しているが、順に、款 教育費、項 社会教育費、目 図書館費となっており、その下に節として、ここに記載したのものがある。

事務局：長野市の予算の項目は1節から28節までである。その中で、各所属ごとに必要な予算を要求し、獲得していくので、ここに記載した節の予算が図書館の予算のすべてである。例えば、図書館車の重量税は、27節公課費で支払うが、その予算は管財課が市の車両について一括して要求しているため、図書館費には記載していない。

(参考 5 節：災害補償費 6 節：恩給及び退職年金 10 節：交際費)

委員：何か、見とおしなどについて、説明していただきたい。

事務局：大変後押しをしていただく力強いご発言でありがたい。予算については、基本的に財政当局が各所属と調整の上作成し、市長査定を経て、議会で議決していただいて確定する。その中で両図書館は頑張っている。大変財政状況が厳しい中で、一般会計の総額はもう決まっており、教育費全体で見ると確かに対前年度 5%減にはなっているが、その年によって、大きなハード事業があったりすると増減はあるもので、経費費的なものは、教育費の中では確保できている。今、(公債費は除いて) 民生費の次くらいに確保できている。ここ数年、一般会計予算案の中で、皆さんの思いは、各館長から財政担当に伝えて、それなりの予算確保ができています。本当に必要なものはつけていく、節減できるものは節減していくというのは世の常であり、その中で図書館費は前年度とほぼ同額である。細かいことであるが、教育費全体の中でマイナスのシーリングがかかっており、対前年度 5%カット、10%カットということになっている。今後予算要求していく中で、委員の皆さんの強い要望があることを伝えて予算獲得に向けて努力していく。

委員：いろいろと財政上苦しい状況の中ではあると思うが、よろしく願いたい。

南部図書館の関係であると思うが、移動図書館の利用状況が右肩下がりであるとのことであるが、原因について思い当たることはあるか。

事務局：特にこれという思い当たる原因はないが、合併した地域の利用が伸びていない。また、新規利用者の開拓が難しい。決まった 1, 2 人しか利用しないステーションもあり、場所の見直しが必要と思う。

委員：移動図書館は、システムとして素晴らしいのだが。

委員：移動図書館は、山の方に住んでいて図書館に行けない人が利用するものであるため、利用が少ないのは仕方がない。そういうところを排除してしまうと借りたい人が借りに行けない。車のない方が利用していることが多いので、子どもが多い場所は利用が多いが、それが午後 2 時、3 時の暑い時間帯に当たったときは出て来られない。こういうデメリットが多く、時間帯を選んで利用することができない。全体に見てお年寄りとお年寄りとお年寄りを押して来る人がほとんどであるため、新規利用者を増やすのは難しい。利用される人のお名前を覚えられれば、いろいろな本をお薦めすることもしやすいが、それも難しい。1 人でも 10 冊借りている人もいるので、利用者が少ないからといってその場所を廃止するというのはいかがなものか。

委員：移動に限らず、図書館利用者は非常に熱心な人が多い。移動図書館ステーションの周辺にどのくらいの住民が住んでいるか、また、時間帯の問題が大きい。それを叶えるには、もう 1 台図書館車が必要ということかと思う。

委員：以前は、七瀬公民館でやっていたのが、マツヤ七瀬店でやるようになったら大幅に増えた。前の場所は目立たないところであり、利用者も 1, 2 人で、「あまり少ないと廃止になってしまうよ」と話したこともあった。マツヤになったら、買い物に来た人が借りてくれて、1 回利用すると、様子がわかってまた利用してくれる。しかし、移動図書館車を見ても、何の車かわかっていない人も多い。市報に記載されているだけでは理解していない人が多いのではないか。

委員：利用者が多ければそれで良いということではないが、熱心な方が少しでも寄っていただければ、ということかと思う。

委員：しかし、1・2人のために高い燃料を使って巡回するのも大変かとは思いますが。

事務局：移動図書館は、日、時間が決まっており、停車時間も20分から長くても50分程度なので時間帯に合わせておいでいただくのは難しい。5月と11月に年間の巡回予定を広報に掲載しているが、それだけでは市民に浸透しないため、区長さんをお願いして地区にチラシを配布した経過があるが、なかなか効果があらわれない。19年度は18年度に比べて巡回回数が減っているため利用状況が減少した。全く利用しない人たちにどうしたら利用してもらえるかを検討する必要がある。

委員：私は信州大学教育学部からの推薦で出席しているが、いつも長野図書館を多くの学生が利用しており感謝している。学生だけの話ではないが、図書館利用のマナーについて、先日埼玉県図書館で新聞を閲覧していたところ、ある一部がぼっそり切られていたことがあった。新聞報道等でも図書館の書籍、新聞雑誌等の切り取りというような致命的なマナーの悪さを取り上げられているが、実態と対策はどうか。

事務局：長野図書館の方で申し上げますと、日常的に小さなものはあり、誰がやったか不明である実状である。2年ほど前の10月頃であったと思うが、最初は美術書で何冊か同じシリーズ物で、何ページか切り取られ、トイレに捨てられたことがあった。本は元の書架に戻してあった。切り取られた物はどうしようもないので、しないように注意書きを掲示したところ、今度はページを切り取って、そのページと本と一緒にトイレに捨てられた。合計20冊くらい捨てられた。ちょうどその時、ショーケースが手に入ったので、図書館の玄関にその現物と、過去に汚損、破損された本を展示した。やるなど言えばやるので、「これらを見てどう思いますか」というような掲示をした。

一般の方向けに、もし、ページ抜け等気がついたことがあったらお知らせいただきたいという掲示を半年くらい行った。それ以来、深刻な事態は起きていない。

そういった展示は折に触れて実施していきたい。

事務局：南部図書館でも、本の汚損・破損はある。南部図書館には、施設に貸出をする市民文庫があり、300冊を限度に貸出しているが、利用者個人には、施設の職員に貸出・返却をお願いしており、それほどきちんとした管理は困難である。紛失、破損、汚損が増加している状況である。図書館に返却される本は中身を点検し、汚損・破損が判明した時点で(全部ではないが)弁償していただいている。

委員：いろいろな人がいて利用者側の問題はあり、両図書館とも対応に苦慮している状況のようであるが、何とか利用状況が向上してほしい。

(インターネット予約等について)

委員：パスワード登録者は、パスワードでこれを借りたいと申し込んで、窓口に来てパスワードを持っていけばそこで借りられるということか。

事務局：「あった君」からの予約が、自分で機械でできる。今までは、紙に書いてカウンターに出していただいていた。

委員：パスワードは「あった君」のみか。

事務局：「あった君」とインターネットの両方で使える。

委員：インターネットから予約しようと思ったが、最初はパスワードをどうやるのか分からなかった。南部図書館で聞いて、何桁かの番号（以下、仮パスワードという）をいただくことが必要なので、1回は図書館に来て、仮パスワードをもらって、家に帰って自分のパソコンから本パスワードを入力するのだとお聞きした。

委員：最初にパスワードを登録しなければいけないということか。

事務局：最初は、カウンターにおいていただいて仮パスワードを発行する。その仮パスワードを使って、自宅のパソコンから本パスワードを登録していただく。

委員：それは、Eメールでも同じか。

事務局：インターネットでパスワードを登録する画面に、同じように、Eメールを登録する画面が一緒になっている。

事務局：Eメールは、予約した本が用意できたときに、図書館からお知らせするために登録していただいている。予約するだけなら、パスワードだけ登録すれば「あった君」から、又は、自宅のパソコン、携帯電話からも予約できる。その場合、予約した本が用意できたら従来どおり電話で連絡する。しかし、インターネット予約の方には、できるだけEメールでお知らせしたいのでEメールアドレスを登録してほしい。

(その他)

委員：「長野市内には教育機関があり、それぞれに図書館を持っている。大学は一般市民にも利用してもらえると規定を設けて利用していただいているところが多い。どういう形で使えるかは、それぞれの教育機関が別に定めているが、それらを有効に利用してはどうか。書庫が足りなくなっている状況であるとのことなので、それぞれの機関で同じ図書・雑誌を購入しては、書庫がますます足りなくなる。できるならば、分散して購入して、一般市民を含めて利用していただければシステムティックで良いのではないかと前回の協議会で提案した。その際、委員のお一人から、「まず、市内の教育機関の図書館の蔵書の特徴や、蔵書数等を調べてみたらどうか」というご提案をいただいたので、原案を作成した。予算の問題もあるので、すぐできるかどうか、また、協議会の決定のみでできるかどうかは分からないが、資料として作成した。上田市では、高専はないが、私立大学を含めてやっているようである。しかし、小中学校、高校まで手を広げてしまうと、実際に動けなくなってしまう恐れがあるので、様子を見るということで、想定しているのは国立大学機構に掲載された大学、短期大学、工業高等専門学校から始めたらどうかと思うがいかがか。

(資料説明)

まず、調査をしてその結果を、各図書館さんから公開しても良いとの了解を得られれば、長野市の図書館のホームページに提示して、できれば、各図書館のホームページにリンクすることができれば、それを見て利用できるものがあれば、利用していくということはいかがか。

委員：調査対象は大学ということか。単に分類別の冊数を聞くだけになる。一般に利用できるということであるが、情報はインターネットで公開されているのではないか。

委員：年配の方がインターネットでアクセスするのは大変なことである。おっくうで敷居が高

く回避することが多くなってしまいます。せつかく制度がありながら利用していただけない状況である。本当は、移動図書館に乗せてもらえば良いと思うが、要望があった場所へ持っていくことができれば良いと思う。しかし、予算の問題もあり、一足飛びには無理なので、こういったことから初めて、要望が多くなってくれば移動図書館と一緒に乗せていただくことも考えられると思う。

もう一つのご意見で、他の学校はどうかということであるが、上田市の例では、小中学校、高校の段階では、常駐している人がいない困難である。小中学校まで広げるとできない計画になる恐れがあるので、短期大学、高専、四大から始めたらどうかということである。

事務局：委員長さんからのご提案をいただいて、市内の図書館を利用できるかどうかを、事前にインターネットで調査してまとめたものがある。信大教育学部から高専までであるが、経済短大、県短大、女子短大までは、インターネット検索ができる状況ではない。従って学外利用もないということであると思われる。市立図書館のホームページにリンクすることは何の問題もない。合わせて、一般に公開されている図書館の利用が少ないのは、それを知らない市民が多いからと思われる。市立図書館のホームページにリンクを張る場合には、その図書館は一般市民も利用可能であることを添えながら、利用案内のホームページにつなぐことも考えている。この調査に加えて、それも照会したらいかがかと思う。

委員：市立図書館はホームページに蔵書を公開しているが、なかなか皆さんに伝わらない。利用度の問題がある。また、書庫が足りないという問題もあり、もし、将来、分散・保管を分担するということになれば保管期間が伸びて、学術雑誌など、研究的なことに従事している人には便利ではないか。今ここでレベル2（第2分類）という範囲で蔵書について調べれば、工学部、教育学部など専門書がこの程度あるということが分かる。インターネットを利用して蔵書の有無を調べることができる。これが最終目的ではないが、一般に公開していて貸出ができるということが分かればそれぞれの図書館に行き行って借りることができる。市立図書館としてのサービス向上につながるのではないか。将来的には、交通の不便なところに住んでいる市民に、移動図書館のようなものを利用して運ぶことができるようになれば、地域間の格差が是正されるのではないか。

分量的に、この位であれば市のホームページに掲載することは可能か。

事務局：現在、公共図書館間では相互貸借といって、自館にない本を他の公共図書館と貸し借りして、それを市民に貸し出すことができる制度があるが、大学図書館はそれは可能か。

委員：清泉の図書館は、希望する図書館へ貸し出しし、そこから個人にお貸しするかどうかは各図書館の規定による。学校間は比較的自由に貸し借りしている。

委員：信州大学は、他の国立大学図書館とは日常的に貸し借りをしている。国立国会図書館は別にして、他の公立図書館と貸し借りすることはできない。

委員：経費の面でそれほど負担がないと思われるので調査することに賛成である。

委員：市民は、大学図書館から借りられると思っていないので、広く知らせるという意味では良いと思うが、大学へ行って借りるのは勇気が必要だと思う。今は物騒な時代なので、どんな人が借りられるのか、年齢などの条件もあれば掲載した方が良いと思う。

委員：学校によって色々であると思う。運転免許証、健康保険証などの身分証明書を見せれば入館証をくれる。信州大学でも同じで、登録制度になっている。2冊2週間の範囲で借りられ

るので、気軽にご利用いただきたい。

委員：手続きの方法などの細かいことも知らせていただきたい。

委員：私は、信州大学の教育学部も工学部の図書館も行ったことがある。イベントをしている中で、図書館がたまたま開館していたので入らせていただいた。なかなか入れない所なので、とても参考になると思うが、蔵書数は長野市の図書館の方が多いと感じる。けれども、インターネットで見られるということは今まで知らなかったので、長野市のホームページを開いてこういうことをやっているという情報を得られることは嬉しいことではないかと思う。

委員：協議会として、このような調査をすることについては有意義なのかどうか。分類ごとの割合については、どこの図書館もだいたい同じだと思うので、各大学図書館の特徴を把握できるような項目を入れれば良いと思う。

では、ここで委員さんからいただいたご意見を含めて事務局で練っていただきたい。